

市民意見及びこれに対する本市の考え方 (対象事業:門司港地域複合公共施設整備事業)

意見の概要	本市の考え方
1. 事業推進について 48件	
総合的に、門司区役所を建て替えるならば提示されている計画が妥当。 10件	本市の公共施設マネジメントは、市民の安全・安心を確保し、子どもや孫の世代が安心して暮らせる地域社会を築いていくため、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していくことを目的とします。本事業は、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで利便性向上、市民サービスの効率化、地域の活性化などに寄与するように進めて参ります。
歴史的観光地の中心に、複合的な公共施設が計画されたことは、門司区で働く人たちにとっても大変ありがたい。 3件	
建設費が非常にかかるとの内容になっているが、図書館やホールと一緒にできることで、門司港駅付近の更なる賑わいにつながり、ワンストップサービスやバリアフリーになり、80年間も使っていくのであれば、必要な経費。門司区の玄関口、更には北九州市の玄関口として、ふさわしい門司区役所が早期にできることを期待している。 8件	
門司港駅周辺は交通の利便性が高く、市民サービスの向上が期待できるため、事業を進めて欲しい。 7件	
門司区役所、門司市民会館は古くて使い勝手が悪く、設備の老朽化も進んでおり、バリアフリー対応も十分ではない。耐震基準を満たしていないと思われる。地震時に倒壊する恐れもある。早期の計画推進を希望する。 4件	
門司港駅周辺に大型複合施設ができることは、非常にうれしい。門司港は観光客には有名だが、市民の施設が少なく地元市民は訪れることは少ない。建築の実現に向けて早急に進めて欲しい。 3件	
コロナ禍で財政状況が厳しい中、既存施設の利用で対応すべき。また、保健所の拡大などに力を入れるべき。100億円もの事業費をかけて行う計画は反対。計画を白紙に戻した方がよい。 5件	
門司区役所移転は反対。区役所の機能を大里地域の施設に移し、現在の区役所は支所として残すべき。人口減少のなか、市民の血税を使って新築する必要がない。 2件	
古き懐かしい建物と現代的で近未来的な建物が、うまく調和した地域になれば良い。 3件	
この計画は、「行財政運営の視点」のみが重視されているが、本来必要な「役割機能の視点」を持つべき。 1件	
魅力のない、ありきたりな計画。レトロ地区にふさわしくない。 1件	
このプロジェクトでは、都市計画マスタープランから一歩先のまちの将来像が示されていない。何の目標に向けて進めているのか。 1件	
2. 公共施設を集約について 44件	
老朽化した複数の公共施設を1箇所に集約することで、整備費やランニングコストなどの財政負担軽減につながるため、事業を推進することに賛成。 3件	老朽化が進み、近い将来建替えが必要な公共施設を集約することにより、市民の利便性の向上及び市民サービスの効率化を図り、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに周辺地域を活性化させていきたいと考えています。さらに、共用部(廊下、階段、トイレ等)の効率化を図り、床面積を縮減することで、整備費や維持管理費、運営費の削減が見込まれます。また、個別に建替えをした場合の費用と比べ、集約した方が財政負担の軽減が図れます。
現門司区役所は駅から離れ、急斜面の上に建っているため、高齢者に不便。門司港駅の傍に複合施設として建つならば、利便性が一気に改善されると思うので複合施設整備を希望する。 3件	
門司港地域に複合施設が建設されると、便利が良くなり、より良いサービスが受けられると思う。建設計画を進めて欲しい。 10件	
門司港地域は、同じような利用されていない古い公共施設が点在している。これらを1箇所にまとめ、施設の稼働率を上げることは、利便性の向上や経費削減のためにも良い。事業に賛成。 13件	
市は今もこれからも財政状況が厳しいため、無駄な出費はやめるべき。今の建物を活用すべき。コストパフォーマンスが不十分。 3件	
門司区役所、門司図書館、門司市民会館は歴史のある建物なので、存続して欲しい。停電や水害、高潮などに対応するため、分散して建てた方がよい。集中は良くない。 4件	
1箇所にまとめることが住民の福祉に資する都市計画なのか。公共施設の本質は、大規模な建物ではなく、住民サービスにあるのでは。過疎になる元気を失った地域に人が集まれるよう、バランスよく設置する方がよい。1箇所に公共施設を集め、全体の地域や公共交通アクセスはどうなるのか。都市計画の目的はコンパクトシティ、ネットワークという都市像を実現することではなく、人々がその地で人間らしく暮らしができるように支えることが最も大切だ。 1件	

意見の概要	本市の考え方
2. 公共施設の集約について 44件	
耐用年数を超えて利用されている現状の施設を集約してアップデートする方法は、経済的で良いと思う。	1件
公共施設をまとめると、ついでに他の施設に寄ることができ、新しい活動が生まれるため、賛成。	1件
既存の建物を使わず、新たに税金を投入して区役所を作ることが理解できない。既存の建物をリノベーションして、SDGsなどに対応したまちづくりを行って欲しい。	1件
劇場や音楽会など、日常から離れ、木々のある老松公園のところでもスマートなホールにして頂ければ良い。	1件
公共施設を集約して建てた方が、個別に施設を建て替えるより、インシャルコストで約24億円、ランニングコストで年間約6千万円の負担軽減が見込まれるとあるが、根拠を示して欲しい。敷地賃借費または購入費、敷地内既存施設の移設・撤去費、自然災害(高波など)対策費、同損失の補修・復元費、施設跡地は民間へ売却などは、含まれているのか。	1件
集約される施設は全て、経費削減のため規模を縮小している。各々の施設の将来計画の床面積はどのような利用を想定して決めたのか。利用内容と根拠と理由を知りたい。	1件
集約して新築するものと、既存の具体的各施設を補修リニューアル、再利用するものとの費用の比較をする必要がある。各施設の補修リニューアルの費用の個別の算出はしているのか。	1件
3. 建設予定地について(整備場所について、財政負担) 60件	
門司区役所に出向くとき、門司港駅からは遠く、傾斜のある坂を上らざるを得ないことが難点で、高齢化が進む中で、市民にとって嬉しいこと。門司港駅に近いので、昼休みや仕事を終えた後に図書館の利用や多目的ホールでの催しに参加できやすくなった。利便性やコンパクトシティを考慮した現在の位置計画は、市民の安全にも経済的にも良い。	5件
門司港地域の公共施設は、設備が古く点在しているため、非常に利用しづらい状況。複合公共施設が、交通アクセスの良くなる門司港駅付近に集約されることで、数多くの住民ニーズに答えることができる。	5件
今の施設は、車では駐車場が狭く、JRでは門司港駅から離れているのでかなり不便。新しい施設の建設地は、門司港駅の近くで立体駐車場もあるため便利になり、建物もきれいになるので建設に賛成。	5件
門司の公共施設は、老朽化が進み利便性が悪く不便。交通機関が充実している門司港地域に公共施設ができることは嬉しい。特に、大きな多目的ホールができることが楽しみ、建設の実現をお願いする。	4件
<p>老朽化が進み、近い将来建替えが必要な公共施設を集約することにより、市民の利便性の向上及び市民サービスの効率化を図り、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに周辺地域を活性化させていきたいと考えています。さらに、共用部(廊下、階段、トイレ等)の効率化を図り、床面積を縮減することで、整備費や維持管理費、運営費の削減が見込まれます。また、個別に建替えをした場合の費用と比べ、集約した方が財政負担の軽減が図れます。</p> <p>複合化や多機能化により対象施設を一つの建物に集約することによる共用部分(玄関、階段、トイレ等)の削減や、各施設で重複している室の稼働率から、必要な規模・部屋数を算定し、全体面積の縮減を図っています。</p> <p>本事業では、門司港地域にある集約対象施設の多くが築50年以上を経過し、更新時期に差し掛かっているため、「改修による継続利用」ではなく「建替え」(集約)とすることにしました。</p> <p>建設予定地は、まず市有地を含む複数の敷地について、門司港駅などの公共交通の拠点や中心市街地からのアクセス性、施設を一体的に整備できる敷地面積などの視点で比較し、候補地を駅東地区と駅西地区の2箇所に絞りました。その後、平成30年度に行った公共事業評価事前評価1において、支障物移転費用などを含めた財政負担や、公共交通利用者の利便性、地域の活性化につながる商店街等への波及効果などの観点で総合的に検討した結果、現在の駅東地区を建設予定地とする方針を示し、外部有識者会議に諮り、パブリックコメントを経て、この場所で整備することを決定しました。</p>	

意見の概要	本市の考え方
3. 建設予定地について(整備場所について、財政負担) 60件	
建設予定地は交通の便も良く、公共施設へのアクセスなど利便性も格段に良くなり、市民サービスも大きく向上すると思うので、現在計画されている場所での建設を希望する。 12件	
生涯学習センターは、駅から離れていて利用しづらいのが現状。建物も老朽化し、地震など自然災害の多い昨今、耐えられるか不安。そこから駅近隣に区役所、市民会館、図書館、生涯学習センターなどの施設を複合的にまとめて移転し、使い勝手を良くすれば、市民及び区民が便利に使える施設になると思う。 6件	施設の建設予定地は、まず市有地を含む複数の敷地について、門司港駅などの公共交通の拠点や中心市街地からのアクセス性、施設を一体的に整備できる敷地面積などの視点で比較し、候補地を駅東地区と駅西地区の2箇所に絞りました。その後、平成30年度に行った公共事業評価事前評価1において、支障物移転費用などを含めた財政負担や、公共交通利用者の利便性、地域の活性化につながる商店街等への波及効果などの観点で総合的に検討した結果、現在の駅東地区を建設予定地とする方針を示し、外部有識者会議に諮り、パブリックコメントを経て、この場所で整備することを決定しました。
門司港駅付近は交通量も多い所なので、交通事故などの危険がなく交通渋滞の懸念がない所を選ぶべき。 2件	
門司港駅付近には商店街などもあり、何かのついでに利用する事ができるようになると思うので、今検討している場所に建設されることを希望する。 2件	
門司港駅周辺はレトロ地区として観光性も高く、他の場所では予定地ほどの利便性を得られるとは思えない。現計画地で建設を希望する。 1件	
図書館や市民会館は、老朽化やバリアフリーの問題もあり、利便性の良いところに整備するのは賛成。 1件	
広い場所がないのであれば、区役所は現在の場所や元門司税務署跡地に建替えても良い。 1件	
建設用地は、門司港駅前の一等地を購入することになって良かった。市の財産となり遠い将来、施設を取り壊したあとの利用も自在で、売却もできる。 2件	
JRの土地を購入して複合施設を建てるのは反対。市有地に建設するべき。 2件	
大里地域の方が安全。門司港地域には出張所を建設し、門司競輪場跡地に複合施設の建設を進めれば、土地購入ではなく市有地を活用できる。 2件	複合公共施設を整備できる規模の市有地がなかったため、民有地を借地することとしていましたが、市の長期的な財政負担を考慮して、建設予定地の買収の可能性について地権者と交渉を続けた結果、現在、買収に向けた協議を行っています。
建設用地について、借地ではなく土地取得のほうが負担軽減という観点から望ましい。地権者と交渉するにあたり、売主側の言い値が基準になるのではないかと懸念がある。 1件	
今回新たに、JRから土地を買収するとしているが、公共施設のマネジメント方針に照らして、新たな土地の購入は控え、市有地の有効活用をすべき。財政難を唱える中、時間と税金を使つての事業のあり方についても検証すべき。 1件	
敷地選定自体に問題があったのではないかと。敷地はなぜ民間の土地を選定したのか。借地からなぜ購入になったのか。 1件	
コンパクトシティでは新たな土地を購入しないはずであり、借地より購入が安いからというのは原則に合わない。借地と購入の比較で、建物の耐用期間が長期になっていたのではないかと。 1件	

意見の概要	本市の考え方
3. 建設予定地について(整備場所について、財政負担) 60件	
<p>複合施設の敷地選びの時点で、その条件として、「少なくとも4,000㎡以上のまとまった敷地を確保することが必要」と言ってきたが、敷地面積が基本設計時の7,628.17㎡に増加変更したのはなぜか。</p>	<p>候補地の敷地形状などの条件から算定した結果、現在の敷地面積となりました。</p> <p>1件</p>
<p>門司港駅周辺以外に候補地はなかったのか。駅周辺以外の場所でも探したという形跡がない。公共施設に適した敷地は、多くの区民の住む市街地の中心部、老松公園の周辺、栄町・東本町・老松町あたりであって、街はずれにある門司港駅横ではない。また、大里地区での敷地探しはしなかったのか。</p>	<p>門司港地域は、従来から門司区の行政・文化の中心となっていること、特に、行政機能について、関係する官公署(税務署、国の合同庁舎、警察署)が近接しており、市民や企業の手続きが一つの地域でできることや、官公庁間の連携が密に図れるなど、市民サービス、行政運営の面でメリットがあること、公共施設が充実している小倉都心まで離れており、一定の行政サービスや文化機能の確保が必要であることなどを鑑みて、人口だけで集約場所を選定するのではなく、現在、門司港地域にある行政機能と、文化・交流的な機能は、門司港地域に存続させるという考え方で、門司港地域に整備することとなりました。</p> <p>1件</p>
<p>区民には買物や医療機関に通う日常がある。区民利用の公共施設との利便性は、どのように検討したか分からない。門司港駅は商業業務機能の集積地、商店街区域及び大半の住民の住む区域、それぞれの中心から離れていると考えられる。商業業務機能は敷地選びの理由にはならない。</p>	<p>建設場所は、複数の敷地について、門司港駅などの公共交通の拠点からのアクセス性、施設を一体的に整備できる敷地面積(4,000㎡)などの視点で比較検討し、併せて、施設利用団体等との意見交換及びアンケート調査やパブリックコメントの結果を踏まえ、駅東、駅西地区の2箇所を候補地としました。さらに、この2箇所の候補地について、公共交通利用者の利便性、機能的な施設配置が可能な敷地形状、地域の活性化につながる商店街等への波及効果、市の財政負担などの観点や、市民意見などを総合的に検討し、駅東地区を建設予定地としました。</p> <p>1件</p>
<p>区民利用を第一に考え、施設の位置や内容をしっかり検討すべきところを、観光客の利便性、賑わいや回遊性の創出などという目標を掲げて、敷地選びが市民利用公共施設の本質から外れていると考える。施設利用が地域住民から外来者・観光客へと逆転してしまった内容になっている。</p>	<p>本事業は、構想段階から、市民の利便性や、地域の活性化に資するよう、市民のみなさまのご意見を頂きながら、一步一步丁寧に進めています。</p> <p>1件</p>
<p>門司港地域の市街地中心部にある、駐車場、空室の多いビル、マンション、個人商店、シャッター街などで、地主・家主や店子などの権利者、自治会、商店会、不動産業者などに当たって話し合いや交渉をしたのか。公共施設と民間企業施設との複合は考えられなかったのか。</p>	<p>警察や交通事業者等と協議し、交通渋滞をなるべく発生させないようロータリーの改修を行う予定です。</p> <p>1件</p>
<p>計画敷地は国道198号に面しているが、敷地は栈橋通り交差点に近接している。朝夕のラッシュ時に、この敷地から国道への出入は相当な混雑が予想される。また、ロータリー奥に立体駐車場を設置することになり、混雑が危惧される。</p>	<p>1件</p>

意見の概要	本市の考え方
4. 複合公共施設(検証案)について(施設の配置、各施設の仕様、その他要望など) 55件	
<p>駐車場の配置や車両通行の流れは良くなった。図書館が1階正面に配置されたことも評価できる。図書館は、目的を持って足を運ばなければ行く機会がない。通りに面した場所に配置されることによって、図書館が身近になると考えるため。</p>	5件
<p>市民が最もよく利用するのは、市民サービス事業である区役所業務であり、利用度の高いものを1階に配置すべき。複合施設にすることに無理があり、市民が利用しやすい施設にするため、区役所や図書館、生涯学習センターは他の所へ再検討すべき。</p>	2件
<p>公共事業評価事前評価1時点に比べて、今回の事業評価2では、各施設の配置も更に検討されており、より良い施設配置になったと感じる。予算が3億円ほど抑制されたため、良いと思う。</p>	1件
<p>施設配置は、当初の案よりコンパクトになり、理想に近い形になった。</p>	1件
<p>施設の利用法は時とともに変化するが、市はどのように考えるか。区役所の窓口の現状と、10年、20年後の将来像をどのように考えているのか。</p>	1件
<p>将来のことを考えると、門司区にこの規模の施設が要るのか疑問。</p>	1件
<p>棧橋通り交差点を通過して市街地から歩いて来る人の中には、奥の施設に行くため、図書館内を通り抜けて行くことが考えられる。</p>	1件
<p>平均津波高4m以内にある1～2階は、行政資料を置けないため、区役所を1～2階に配置できないとなると、何のための建設か。</p>	1件
<p>門司区役所を図書館として活用できないか。必要な改修を行い、歴史的建造物を使った新図書館として、話題を集めるのではないか。計画では、高潮や津波で浸水する施設の1階に図書館を置いている。門司港駅横の図書館は、不要な音も心配される。</p>	1件
<p>敷地の形状も2つに分かれた異形のもので、この複合施設に合わない。基本設計において、公共施設マネジメントの基本方針に反して、複合施設を2棟に分けたため、予算増加を引き起こした。この原因及びその理由は示されていない。</p>	1件
<p>現在の門司区役所において、建物の老朽化や高齢者へのバリアフリー対応などは問題があるが、建物の中は趣があり落ち着きを感じる造りとなっているため、非常に気に入っているが、利便性を考慮し、門司港駅と直結可能な近隣に移築可能なら、利用者にとって親しみやすい区役所になる。</p>	1件
<p>バリアフリーや、乳幼児も長時間滞在できるように、オムツ替えスペースなどのトイレを設置してもらいたい。</p>	3件
<p>現在の門司区役所はかなり老朽化しており、フロアが迷路のようになっているほか段差も多い。加えて門司区は特に高齢化率が高いことから、バリアフリーで誰もが安全安心に利用できる施設に建て替わることを期待している。</p>	1件
<p>子育て世代が利用しやすい、ユニバーサルデザインとなっていることは喜ばしい。</p>	1件

複合公共施設棟は、施設利用者の動線に配慮し、エレベーターや階段などを施設中心のコア部分に効率的に配置することで、整備費や維持管理費の節減に努めました。さらに市民が利用する図書館や生涯学習センター、多目的ホールや区役所(ワンストップ窓口)などの施設を低層階に配置し、コア部分にエスカレーター(1階から2階)を設けることで、様々な施設利用者の施設内の移動に配慮しました。また、ホールを低層部に配置したことで、避難階段や消防設備を縮減し、エレベーターでの移動距離の短縮を図りました。なお、建設予定地は津波浸水想定区域ではありません。

複合公共施設は多くの方が使用する施設となることから、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、授乳室や赤ちゃんの駅、各階に多目的トイレを整備などを計画に反映して参りました。今後も、誰もが使いやすい施設を目指して取り組んで参ります。

意見の概要	本市の考え方
4. 複合公共施設(検証案)について(施設の配置、各施設の仕様、その他要望など) 55件	
人口減少が進んだ場合に施設規模が過剰にならないよう、レイアウト変更にも対応できるよう考慮してはどうか。多目的ホールは、門司区の規模を考えると固定席のホールである必要はないのではないか。他の用途にも転用できるよう、多目的としてもらいたい。	
ホール内の可動式客席は、初期の頃に比べ、格段の設置技術の進歩と客席収納後のスペースの使用法が、バドミントンなどスポーツの利用ではなく、大規模な展示会や不測の事態の折のワクチン接種会場に使用するのであれば大賛成。(多目的ホールとしての役割として正解)	
ホールの座席数500では、通常の商業ベースのイベントには座席数が不足しているのではないか。	
窓口が複雑であり、市民対応がいまいちである。区役所のワンストップ窓口が、十分に機能することを願う。	
生涯学習センターの入口横に有る彫刻「曙光」を、移設して欲しい。	
図書館について、「簡易なレファレンス」という表現があるが、わざわざ「簡易な」と形容詞を付けるのは不適切。	複合公共施設に付属するにぎわい広場などのレイアウトや詳細仕様については、建設後、長期にわたって活用していくことに鑑みて、多目的に活用できる仕様や、将来的にフレキシブルに変更できるよう仕切りを無くした自由度の高い空間にするなどの配慮をして取り組んで参りました。
にぎわい広場は狭くてイベントなどが制限されそう。	さらに、今後も市民との意見交換などを通して、市民のみなさまに親しまれ、多くの方にご利用いただける施設を目指して取り組みます。いただいたご意見は今後予定している実施設計の検討に当たっての参考とさせていただきます。
正面入口内の市民ロビーと言われているところも、廊下に過ぎない。ここには施設の案内所もあるだろうし、利用者が待ち合わせや談笑し、一休みする場としては広さが足りない。また、利用者が迷わず効率的に利用ができるように、正面玄関に総合案内所が必要と考える。	
正面玄関がトロッコ列車の駅の陰になり、門司港駅、ロータリーの方からほとんど見えない。正面玄関には車も直接付けられない。救急車も付けられない。	
光庭(吹抜け)については、取りやめるべき。	
エスカレーター付きの建物が建つのは素敵。	
エスカレーターは維持費がかかる。	
平尾台産や美祢産などの地元の石灰岩を、壁面タイルとして使用して欲しい。駐車場棟について、銀ピカめっきにならないように、化粧パネルを設置するなり、めっきにリン酸処理を施すなりして、景観に配慮して欲しい。	
今回の計画は敷地に余裕がなく、街路樹など緑地もない。	
複合施設全体のサービス用出入口及びそれに接続する国道198号からの車の通路は、建物の南側に沿ってあるが、サービス用の車はどこでUターンするのか。荷下ろしやサービスヤードなど、どこで一時停車するのか。	
耐震基準に適合した、環境にも配慮された建物に生まれ変わることは、北九州市民の財産を創る事業としてふさわしい。	

意見の概要	本市の考え方
4. 複合公共施設(検証案)について(施設の配置、各施設の仕様、その他要望など) 55件	
当初の基本設計案では、道路から駐車場への進入に不安がある計画であったが、修正された検証案は、駐車場への動線に不安がなくなった。	2件
かなりの台数の駐車場も整備される計画であり、交通利便性は現在よりも大幅に向上することは、大変喜ばしく思っている。駅前ロータリー内は、路線バスやタクシーなどの通行もあるため、円滑性、安全性の確保について、十分に検討していただきたい。車と歩行者との交錯箇所が生じてしまったため、歩行者の安全策も検討して欲しい。	2件
門司港駅から図書館へのアクセス通路と駐車場の入り口が交差し、動線が安全に保たれるか。	1件
元の基本設計のメリットである「車両動線と公共施設や門司港駅利用者の歩行者動線との交差が少ない。」は、331台収容の駐車場出入口により全く簡単に無にされてしまった。	1件
門司港駅前ロータリーの人と車の安全性確保や既存門司港駅前ロータリーを共用することについて、シミュレーションはできているか。	1件
国道198号からの入口の信号から、ロータリー内を通り、駐車場までの交通混雑は並みではないことが想定される。利用者の利便性の向上を図ったなどとは言えない。市民の利便性を犠牲にした計画であり、重大な禍根を残す。計画は見直したほうが良い。	1件
SDGs未来都市であり、ゼロカーボン・シティを標榜する北九州市らしく、環境に配慮した施設となることを望むとともに、将来を見据えDXにも対応した施設として欲しい。	1件
利便施設は、具体的にどのように使われることになったのか。	1件
建物の最上階に、食堂やレストランを計画するのであれば、最上階に入れて憩いの場にして欲しい。	1件
雇用の維持・継続のために、現在、門司区役所にある食堂を入れて欲しい。	1件
図書館には博多のツタヤのようにカフェを入れて欲しい。	1件

意見の概要	本市の考え方
5. 景観について(景観への配慮) 10件	
門司港駅や九州鉄道記念館など歴史的建造物や、ホテルとして再生される旧JR九州本社ビルなどの周辺施設と調和の取れた景観の形成に努めて欲しい。	6件
複合施設規模は圧倒的に大きい。この敷地で景観形成基準を守るとは困難である。基本設計では、1階部分の緑地や並木など全く見当たらない。これは敷地の面積不足によると考えられる。公共建築であるにも関わらず、景観形成基準を全く無視していることについて、どのように考えるか。	2件
門司港駅の横であり、レトロ地区の中であることからデザインを重視し周辺の景観に調和したものであることは重要。予算や工期ありきで設計会社を選ぶと市民ががっかりすることになる可能性がある。資料にある外観はデザイン的な魅力がない。	1件
国道198号側から見たときに建物が左右対象に見えるよう、構造を工夫して欲しい。	1件
6. まちづくりについて(跡利用、賑わいづくり・地域への波及効果) 64件	
移転して不要になった施設は転用ではなく、民間に売却し、市が維持管理にお金をかけないようにすることや地域の魅力が向上するように検討すべき。	5件
区役所の建物自体は存続して欲しい。	1件
今の区役所も建物や場所は古き良きものなので、門司の歴史、美術、文化人などが見られる、おしゃれな喫茶などがあれば、海が見えて良い。	1件
重要文化財の門司港駅とその周辺を今後活性化し活かすためにも、利便性のある施設などを整備して、その地区の住民の生活が便利になるような開発を期待する。	2件
門司港駅付近に新しい施設を建設することで、レトロ地区の新たな観光スポットになると思う。門司港地域の魅力アップのためにも建設して欲しい。	4件
門司港駅の隣に整備されると、JRとバスの利便性の向上や新たに人流が増え、周辺地域の活性化・経済効果の向上が見込める。門司港地域の再発展に期待したい。	4件
門司港駅周辺の開発計画があると知り、楽しみにしている。賛否あると思うが、地元地域の活性化と利便性が向上するのであれば、建設計画を進めて欲しい。	13件
観光施設でもある駅の傍に多目的ホールがあることは、交通の便からも新たな集客のサポート要素となり、併せて観光を行ってもらう工夫をすることで施設からの回遊も望めるため、門司港地域の活性化に繋がると思う。	6件
栄町銀天街はシャッター街と化しており、活気のある場所ではない。解消するには魅力のあるまちづくりを行い、人を呼び込むことが必要不可欠。今回の計画には賛同する。	5件
門司港駅周辺への公共施設整備は、市民サービス向上のほか、観光客へのサービスも向上するため、付近の活性化に繋がると思う。	3件
人口減少の中、新しい公共施設を作っても波及効果は見込めない。	1件
旧スペースワールド跡地にも大型施設がオープンし、レトロ地区にもそのような計画があると知り、驚きと期待しかない。市の活性化のためにも建設を進めて欲しい。	3件
利用設備の集約、経費の削減も大事な点ではあるが、周辺地域への集客、多くの人々が観光へ行きやすい環境づくりも重要な課題。	1件
レトロ地区は観光地としての価値も高く、地域外からの観光客も多く訪れる重要な場所。建設計画を進めて欲しい。	1件
施設を新設することで、地域の発展、新たな観光名所として門司港レトロ地区が新たな福岡の観光地として賑わうことになり得る。建設を進めて欲しい。	1件

意見の概要	本市の考え方
6. まちづくりについて(跡利用、賑わいづくり・地域への波及効果) 64件	
文化ホール、図書館ができると、門司港地域に人が集まり周辺施設の活性化に繋がる。 1件	
門司港のまちなみに寄り添うような、心地良い場所になることを期待している。 1件	
多種多様なイベントを、大々的にアピールして欲しい。 1件	
門司港地域の若年層が利用しやすい施設、イベントなどを行うことにより地域の活性化を期待する。レトロ地区と近接しているの、県外からの観光客などへのアピールが期待できる。 1件	複合公共施設は、年間60万人が利用することが見込まれ、門司港レトロ地区の玄関口となる門司港駅周辺の賑わい創出に寄与すると考えます。さらに、今回の建設予定地は、門司港駅や九州鉄道記念館に隣接しており、周辺には商店街や門司港レトロ地区の観光施設もあり、民間事業者による周辺施設開発も予定されています。
市を代表する観光地「門司港レトロ地区」の玄関口にふさわしい仕掛けとして、門司港や大連航路関係の奥深い歴史を紹介するコーナーを設置し、観光客が立ち寄りたくなるような、ソフト面での工夫をして欲しい。 1件	今後、複合公共施設を整備することでさらに各施設間での人の流れが生まれ、日常生活を営む市民と、国内外から訪れる観光客が行き交う場所となります。そのため、今回の設計では日常的に市民が利用し、休日も開館する図書館や生涯学習センターなどを低層階に配置し、複合公共施設棟と駐車場棟の間に「にぎわい広場」を整備するなどの工夫を取り入れました。この「にぎわい広場」では、例えばキッチンカーの出店や地元と連携したイベント利用など、市民のみならずご活用いただくことを想定しています。
門司港レトロ地区は本市を代表する観光地であり、新施設が完成することで、レトロ地区の活性化に寄与し、レトロ観光の新たな一翼を担えるような施設になることを期待している。近隣の施設とも連携し、今以上にレトロ地区の魅力を市内外に発信できる取組みも期待したい。 1件	
戸畑区役所庁舎のように、例えば関門海峡花火大会が見られる特等席を設置可能など、門司港地域の各種イベントにも貢献するような施設としていただきたい。 1件	
門司港レトロ地区の目玉になるよう、栄町銀天街と共同で活性化できれば良い。 1件	
公共施設を利用したら、レトロ地区での飲食や買物の優待や割引など。 1件	
賑わいとはどのような内容なのか。複合公共施設を作れば賑わいづくりになるという考えは間違いである。公共施設マネジメントモデルプロジェクトで、賑わいと同時に回遊性の創出も唱えている。この回遊性はどういうことか。回遊性について、複合施設ができるとどのように変わると予想されるのか。 1件	
門司港駅から九州鉄道記念館へ行く一番主要な道は、駐車場出入の車で遮られる。鉄道記念館自体も駅の方から見えにくい。列車の操車やプラットホーム、レトロ観光の大きな一つの目玉である赤レンガ造りの鉄道記念館との一体感あるつながりが、この複合施設により断たれてしまう。 1件	
土地買収費など施設整備費が、大きく変化している。ランニングコストも変化することは明らかであり、公共事業評価では正確な資料が出されないまま審議されている。検討会議での再検討を行うことを求める。 1件	施設整備費やランニングコスト等は適正に算出し公共事業評価事前評価2に諮っております。
モデルプロジェクト推進懇話会は、構成員それぞれの個人的意見を発言しただけで終わっている。このような会合に、どのような成果があるのか。もっと有意義な会合を開くことは考えられるか。 1件	推進懇話会の構成員から頂いた意見について、反映できるものは事業に取り入れながら進めています。

意見の概要	本市の考え方	
7. 災害対策について(災害への考え方・立地、防災対策) 44件		
門司港駅周辺の海拔の関係上、津波などの災害が起きた際、同地に公共施設を建設するのは良くないという意見もあるが、実際の災害などが起きた場合、避難しやすい場所で、開けた土地に避難施設も兼ねた公共施設を建設するのは非常に有用である。	<p>複合公共施設の建設予定地の選定に当たっては、起こり得る様々な災害に備えて、できるだけリスクを軽減できる場所に整備することは大切な視点と考えています。このような中、門司港地域は、山と海に囲まれた地域であるため、土砂災害警戒区域や津波浸水想定区域が市街地に近いなど、防災面では厳しい条件下にあります。令和元年12月に福岡県が公表した高潮浸水想定では、今回の建設予定地をはじめ、集約対象の市民会館や生涯学習センター、図書館などを含む市街地の多くが高潮浸水想定区域に含まれることになりました。</p> <p>そのため、門司港地域に全ての災害リスクを避けられる適地がないことから、防災拠点機能を維持するために重要設備を上層階に設けるなどの対策を講じて、災害リスクを低減した上で、交通アクセスなどの市民の利便性や、まちづくりの視点などを総合的に勘案して、現在の場所を建設予定地にしました。</p> <p>なお、建設予定地は津波想定区域ではありません。</p> <p>令和元年12月に福岡県が公表した高潮(500年から数千年に一度の過去最大クラスの台風で経路や潮位も最悪の条件を想定したもの)が発生した場合でも、防災拠点としての機能を維持できるように、電気室やサーバー室などの施設にとって重要な設備機器を上層階へ配置しました。さらに、門司区の災害対策本部となる庁舎を2階以上に配置することで、防災拠点機能を維持することとしております。</p>	
高潮浸水想定区域内に建てるのはやめるべき。		6件
災害時の門司区の拠点となる区役所を、あえて浸水の恐れのある所に建設するのは止めるべき。		10件
施設の建設位置は、南海トラフ大地震の平均津波高4mと想定されている。海岸線に位置する。最も低地域に、災害対策の拠点となるべき区役所を建てようとするのか。不合理であり、建設位置について再考せよと意見が出るのは自明のことではないか。		9件
門司港駅前の土地を購入してまで、建設するのか疑問。パブリックスペースは安全な土地に建設すべきで、防災時には市民の避難所として使用できる場所を選定すべき。狭い道路に面した場所では、観光客の多い時期は今でも渋滞をしている。		1件
施設の建設には反対。市財政が厳しいことに加え、建設予定地が浸水区域にあるため。現施設を改修して利用するべきだと考える。		1件
既存区役所で十分だと考える。計画を白紙に戻した方が良いと考える。浸水区域内に区役所を移転する理由が理解できない。門司港地域と大里地域とを総合的に考えるべき。		1件
計画地及び周辺道路は、室戸台風級の台風による高潮浸水想定区域内となっている。門司警察署・門司消防分署・周辺道路も浸水区域となっている。これでは災害時に救助活動を担う公共機関が、全て浸水想定区域内となる。生涯学習センターの諸室は、一時避難場所になると想定されるが、高潮の場合は全く役に立たない。このような場所に、自然災害対策の役割を担う公共施設を新築する理由は何か。		1件
海に近いので、高潮などで浸水の危険性があるかもしれないが、万が一そのような事態になったときにも、重要な設備が浸水などしないような対策を取ってほしい。		4件
最近の自然災害の甚大化には大きな不安を覚える。災害時の地域拠点は、自然災害に負けない強固な建物とし、行政機能が確保できるよう、最先端の建物を整備して欲しい。		1件
高潮浸水は台風や大潮が重なった時であり、過去に計画地での被害報告はない。仮に万が一の対応も、設計では考慮がされているため素晴らしい。		1件
新しい建物には、災害時のオペレーション機能や避難施設の機能も備えて欲しい。		1件
現在の計画地であれば高潮の心配もあるが、門司港地域には津波などの災害に強い施設なども少ないと思われるので、非常時には市民の避難などに活用できる公共施設が建設されれば、市民として安心して暮らせる。また、観光客も安心して案内できるようになると思うため、現在計画されている場所での建設を希望する。		1件
高潮対応のため、一階に図書館を置くのは反対。		1件
建物が老朽しており、災害時に住民への救済活動に不安がある。	1件	
安全な高台にある区役所を浸水区域内に建設するのは中止して、再度検討し直すべき。高潮浸水時、1階図書館の図書などを2階以上に事前に上げるというのはおかしい。計画するならば、浸水対策として1階をピロティーなどにする工夫をしないのか。	1件	

意見の概要	本市の考え方
7. 災害対策について(災害への考え方・立地、防災対策) 44件	
浸水区域に避難所となる建物は法律で認められない。無理に門司港駅に隣接しなくても良いのでは。	1件 法律に抵触するものではございませんが、現建設予定地での施設整備は、基本設計や検証の中で、防災機能を高めるための対策を講じております。
建設するところが、3mの高潮被害の想定地域とされている。そこに、防災拠点を作る計画であり、災害の恐れのある所には建設を避けることが常識であり、納得できない。国は災害避難所について災害の恐れのある所は避けるよう指導している。	1件 なお、市内に津波災害特別警戒区域「オレンジゾーン」はございません。
津波災害特別警戒区域「オレンジゾーン」内の生涯学習センターは法律上問題があるのではないか。	1件
8. 広報、意見聴取について(市民意見の聴取) 15件	
もっと多くの住民の声を聞くべき。	4件
市民への丁寧な説明が必要で、密室で決めることではない。	1件
門司区の市民の多くはこの計画を知らない。もっと工夫をして説明すべき。二度目の基本設計の経過について市民に説明はしたのか。	1件
計画を白紙に戻して、住民の意見をじっくり聞いてからでも遅くはないのでは。	1件
基本計画策定前に、ワークショップを開催するべきではなかったのか。行政と市民が案を検討する、本来の「ワークショップ」を開催すべき。	1件 平成27年5月に公共施設マネジメントの方向性を公表して以降、事業の構想の段階から市民のみならず、丁寧に事業を進めて参りました。
施設集約は、市民アンケートで多くの要望が出たと言うが、市民への質問の仕方に問題があったのではないか。	1件
自主財源の少ない市ならば、新築などを考えず、現在の物に改良、改築の手を尽くすべきである。その方策を少数の業者、コンサルタントに依頼するのではなく、広く住民に意見を募るべきである。	1件 意見交換会等 87回 (累計274団体、1,715人)
市は区民の利便性のために、施設を利用する区民の意向・意見を集め、まちの将来像を描くことをしないのはなぜか。	1件 市民無作為アンケート調査 2回
「公共施設マネジメント」と「門司港地域モデルプロジェクト」に対するアンケートでは、実施時期、対象者、設問内容が異なっていることを市はどのように認識しているのか。門司港のことを知らない人も混じる市民アンケートは、ここでは意味をなさない。施設の集約について、事前に市民アンケートを取り、80%の人が集約した方が良いとの結果を得たと発言している。	1件 パブリックコメント 3回 市民ワークショップ 3回 モデルプロジェクト推進懇話会 5回 これからも、広く市民のみならずにご説明し、ご意見を取り入れながら事業を進めて参りたいと考えています。
これまで、数十回の意見交換会やパブリックコメントなどを経て、市民や関係者の意見を反映し、より良い案へと変更していこうという姿勢が見て取れる計画案だと思う。	1件
複合公共施設のことを知らない人も多くいるため、世代別に分けて、カルチャーセンター、町内集會時、学生などにアンケートを取ったら良い。	1件
ホールの舞台設備や細かな中身は、生涯学習センター、区役所、利用する人、それぞれで実務にあたる人の意見を取り上げて、今後も進めて頂きたい。	1件

意見の概要

9. その他 14件 (※意見のみ掲載)

事業評価検討会議は説明時間と質疑時間を合わせて1時間は短い。短い時間で重要な計画が審議されることが、おかしい。

駐車場は相当な収容台数を確保しているようだが、門司港駅や門司港レトロ地区に近接しているため、平日はパークアンドライド、休日は観光客に利用してもらおうなどして、収益を確保して欲しい。

門司港駅横のスーパーは、門司港駅を降りてすぐなので非常に重宝していた。是非スーパーを復活させて欲しい。

おしゃれなレトロ感あふれる老人ホームを、作って欲しい。

隣接する門司港レトロ観光列車の駅舎の規模は小さいが、複合公共施設の中央に位置することから周辺の景観に配慮した駅舎としての再生を期待している。

ストップハコ物行政。

高度成長期でないこの時代に、都市機能誘導区域に区役所、図書館など複合施設だけが作られても、空き家混じりの低密な市街地が広がる。

都市計画の目的は、コンパクトシティ、ネットワークという都市像を実現することではなく、人々の暮らしを支えることが重要。

公共施設マネジメントの発案した時期から、色々な状況が変わっている。マネジメント自体を見直すべき。

基本設計時に建設費の増額はないと言っていたのに、駐車場を建物上部に配置することとなった時点で、増額は容易に分かったはず。結果的に整備費が上がったことにより行った再度の基本設計について、市の責任はどう考えるか。

検証業務のような基本設計の再検討を行った他都市事例はあるのか。検証業務はどこかの部所の発案か。

もう少し詳しい図面を公開すべき。

予約などなくても気軽に利用出来る。悩みや孤独感、不安を持つ人が気兼ねなく利用でき、繋がりができるようにする。説教臭くない形で、利用者のモラルやマナーアップを促す雰囲気づくり。職員のホスピタリティ。職員、利用者の視座も高まり、明るく前向きな気持ち、親切心、向上心などが波及する発信拠点。

建設工事期間の敷地周辺は、工事用車両の往来で、交通の混雑は一段と増す。ロータリーにあるバス発着所、タクシー乗り場は、しばらく別の場所に移すことになるのではないか。